

～まちづくり夢アイデア～

1、外国人に日本永住（家族含む）を前提にした農業後継者づくり。

～主旨～

政府は、2019年4月からの5年間で、最大約345000人の受け入れを見込んでいるという。これまで技能実習まで認められなかった業種も新しく加わっているのです。

受け入れは当面、9か国（ベトナム、フィリピン、カンボジア、中国、インドネシア、タイ、ミャンマー、ネパール、モンゴル）からです。特定技能の外国人の主な要件は、日本語と技能レベルを測る2つのテストに合格するという事です。

その一方で、日本の農業王国としての評判は、農家の高齢化、担い手不足、農家の減少、耕作放棄地、低い自給率など、悪いイメージが浮かぶばかりです。

*失踪技能実習生の実態。

法務省によると、統計を取り始めた2011年の1534人から2020年の1月1日時点では12427人という事です。そのうち約7割はベトナム人が占めているのです。報道等では隠している面がありますが、まさに異常事態です。

～結論～

ベトナムのハノイから来日した、もと実習生のお話しでは、3年で最低200万円は持って帰れるという話は聞いてはいるけど募集広告だけで信用してはならないという事です。

日本の農業補助金世界ランキングを見ると、今のところ安泰ですので生き甲斐をもって外国人も生涯農業に誇りをもってやり通せるのではないのでしょうか。

～以上～